

第1学年 国語科学習指導案

日時 21年10月23日(金)

児童 男子12名 女子14名 計26名

授業者 石橋 豊子 菊池 奈奈子

1 単元名 くらべてよもう(光村図書 1年上)

2 教材名 じどう車くらべ

3 単元について

(1) 教材について

1・2学年の「読むこと」の目標は、「書かれている事柄の順序や場面の様子などに気付きながら読むことができるようにするとともに、楽しんで読書しようとする態度を育てる。」である。これを受けて本単元では、「自動車の仕事と作りの関係に興味をもって読み、ほかの自動車を説明する文章を書く。」を主目標にしている。また、本教材で身に付けたい読む力は、「三種類の自動車について、仕事と作りの関係を考えながら内容の大体を読む。」である。

本教材は、この時期の児童の興味・関心の対象として代表的なものの一つである自動車を取り上げた説明文である。入学して初めて出会った説明文「いろいろなくちばし」では、説明されている事柄を正確に読み取ることを学ぶとともに、説明文の基本的なパターンである「問い→答え」と、その文型を学んだ。本教材では、この学習を踏まえて、「話題・問題提示→問題に対する説明」を自動車の「仕事」と「作り」という二つの因果関係で述べる形をとっている。

この文章は、まず前書きの部分で児童の身近な乗り物である自動車を出し、関心をいろいろな自動車に誘っている。そして、その自動車の「仕事」や「作り」がどのようなもので、何のためのものかということ比べながら読み進められるようになっていく。それぞれの自動車の説明部分では、「仕事」と「作り」のまとまりから成り立っており、児童が分かりやすい文章構成となっている。この時期の児童たちが興味を持つ題材を取り上げ、主体的な理解・表現活動を促す教材である。この学習を通して児童達は正しい説明文の読みを身に付けると同時に、説明的な表現の仕方を考える力や確かな言語能力を養うのに適した教材であると考えている。

(2) 児童について

児童は、これまでに平仮名と20字程度の漢字と片仮名の読み書きを学習した。家庭での音読練習にも毎日取り組み、ほとんどの児童がすらすら読めるようになってきている。入学当初から、時間があると本を読んでいて、本の好きな児童が多い。また、図書室の利用の仕方を学習してから、ほとんどの児童が図書室に通って本を借りるようになってきており、読み物への関心は高い。

児童は、1学期の説明文「いろいろなくちばし」では、説明的文章の基本的パターンである「問い→答え」を学び、「問いの文」「答えの文」をほとんどの児童が見つめることができた。また、「いろいろなくちばし」の最終目標である「とりのクイズ作り」もほとんどの児童が説明的文章の基本的パターンをおさえ、上手にクイズを作ることができた。ただ、クイズ大会の時には、問題の途中でも答えを言ってしまう子が多く、最後まで聞くことがまだ十分とはいえない。学習時にも自分の意見を言いたい児童がほとんどで、お互いの意見を聞きあうこともまだ十分とはいえない。

学び合いでは、1学期の「いろいろなくちばし」からペア学習を取り入れ、自分の考えを話したり、相手の考えを聞いたりすることもスムーズにできた。しかし、全体の場での学び合いでは、友達の話最後まで聞くことがまだできず、発表の途中で口出ししてしまう児童もおり、話し合いのルールが十分に身につけているとはいえない。

(3) 指導にあたって

本単元では、授業でまとめたワークシートと他の自動車について調べ、まとめたワークシートを合わせて1冊の手作りの「じどう車ずかん」を作成させる。図鑑の作成にあたっては、自

分だけの「じどう車ずかん」にまとめることや作成した図鑑を友だちと交換して読み合い、感想を交流しあうことを児童にあらかじめ知らせておく。そうすることにより、目的意識を持ってこの学習に取り組むようにしていきたい。

1 単位時間の授業では、一人学びで仕事と作りについて書かれているところを見つけさせ、サイドラインを引かせる。仕事と作りだけではなく、「じょうぶなうで」「しっかりしたあし」などの難語句についても知っていることをペア学習や学級全体で話し合い、理解の定着を図りたい。また、話し合うことにより「仕事」と「作り」の関係の理解を深めたい。

4 指導目標

(1) 国語への関心・意欲・態度

○ 乗り物の本などに興味を持ち、探して読もうとする。

(2) 読むこと・書くこと

◎ 三種類の自動車について仕事と作りの関係を考えながら内容の大体を読む。(読イ)

○ 語や文としてのまとまりを考えながら声に出して読む。(読エ)

○ 教材文を参考にして、簡単な組み立てを考えて好きな自動車の仕事と作りを説明する文を書く。(書ウ)

(3) 言語事項

○ 漢字や片仮名で書く語を読んだり書いたりする。(言イ (ア))

5 学習指導計画 (1 1 時間扱い) 本時6 時間目

段階	学習活動	評価規準		
		関心・意欲・態度	◎読むこと ○書くこと	言語事項
第一 次 つ か む 二 時 間	1、教師の範読を聞き、自動車に関心を持つ。 ・新出漢字・片仮名の練習をする。	・大体の内容を知り、自動車に興味を持っている。		・進出漢字や片仮名を読んだり書いたりしている。
	2、知っている自動車について話し合い、学習の見通しを持つ。 ・学習の最後に、自動車図鑑を作ることを知らせる。	・知っている自動車のことを発表している。		
第二 次 読 み 取 る	3、教材文のはじめの部分を読み、「しごと」と「つくり」という学習課題を持つ。	・自動車について課題を考えている。	◎問題提示の文末に気付き、課題を作っている。	・「しごと」「つくり」の語句の意味を理解している。
	4、バスや乗用車の仕事とそのため作りについて読み取る。	・バスや乗用車について調べている。	◎バスや乗用車について仕事とそのため作りを読み取っている。	・「～は～しています。」「そのために、～あります。」の文型を理解している。
四 時 間	5、トラックの仕事とそのため作りについて読み取る。	・トラックについて調べている。	◎トラックについて仕事とそのため作りを読み取っている。	・「～は～しています。」「そのために、～あります。」の文型を理解している。

	6、クレーン車の仕事とそのため の作りの作りについて読み 取る。(本時)	・クレーン車につい て調べている。	◎クレーン車につ いて仕事とそのため の作りを読み取 っている。	・「つりあげる」「～ たり～たり」の表現 を理解している。
第 三 次 あ ら わ ず 五 時 間	7、はしご車の仕事とそれ のための作りを調べ、簡単な 説明文を書く。	・調べたことをもと に書いている。	○はしご車の仕事 とそのため の作りを 考えながら書い ている。	
	8、9、10 好きな自動車を選び、自 動車の仕事とそのため の作りを調べ、説明文を書く。	・興味を持って図鑑 や絵本を調べ、説明 文を書いている。	○仕事とそのため の作りの説明に気 を付けながら書い ている。	
	11、自動車図鑑を作り、 友達と読み合う。	・友達が作成した 「じどう車ずかん」 の仕事とそのため の作りを読み取り、 感想交流をしてい る。	○図鑑としての説 明文と挿絵を書い ている。	

6 本時の指導

(1) ねらい

- ・クレーン車の仕事とそのため
の作りを読み取ることができる。

< 具体の評価規準 >

	おおむね達成	支援の手立て
具体の評価規準と支援の手立て	クレーン車の仕事と作りをワー クシートにまとめている。	「しごとをしています。」や「そ のために」の言葉に着目するよ う助言し、サイドラインを引き、 ワークシートに視写できるよう 支援する。

(2) 本時の指導にあたって

本時の内容は、説明文の答えの部分となり、3種類目の自動車（クレーン車）の例となっている。文の構成は、クレーン車の仕事の説明と作りの説明の2段落からなっており、①クレーン車の仕事、②仕事に合わせた作り1、③仕事に合わせた作り2、の三文になっている。

一人学びで、文末表現から仕事について書かれてある文を探させたい。また、「そのために」という言葉をキーワードにして、作りについて書かれてある部分も見つけさせたい。そして、仕事と作りの説明の部分にそれぞれ赤と青の線を引かせたい。

学び合いでは、「そのために」という言葉に着目させながら、仕事と作りが関係していることに気付かせたい。また、「つりあげる」「しっかりしたあし」「～たり～たり」などの語句について話し合わせ、理解を深めたい。また、動作化を取り入れ、丈夫な腕についても理解を深めたい。文章や挿絵などを利用して、語句の意味を確認しながら話し合いを進めていきたい。

そして、ワークシートを活用して書かれている事柄を整理させていきたい。

まとめとして、板書を利用し、クレーン車の仕事とそのため
の作りにつ
き気をつけさせながら、音
読させたい。

(3) 展開

段階	学習活動		予想される児童の反応	指導上の留意点
	学習の流れ	発問等		
つかむ 3分	<p>1 前時の学習を想起する。</p> <p>2 学習課題を把握し、見通しを持つ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;"> クレーン車のしごとと、そのつくりをたしかめよう。 </div>	<p>○今まで、どんな自動車の図鑑を作ってきましたか。</p> <p>○クレーン車の仕事と作りが書いてあるところを探しながら読みましょう。</p>	<p>・バス、乗用車、トラック</p>	<p>・問題提示文をもとにバス、乗用車、トラックの仕事と作りに視点を当てて読み取ったことを押さえる。</p> <p>・「しごとをしています。」や「そのために」の言葉が手がかりになることを確認する。</p>
ふかめる 34分	<p>3 課題を解決する。</p> <p>(1) 学習場面を音読する。</p> <p>(2) クレーン車の仕事について読み取り、話し合う。 【一人学び】 【学び合い: クラス】</p> <p>(3) クレーン車の作りについて読み取り、話し合う。 【一人学び】 【学び合い: クラス】</p> <p>(4) 仕事と作りの関係を考える。</p>	<p>○クレーン車について書いてあるまとまりを読みましょう。</p> <p>○クレーン車は、どんな仕事をしていますか。書いてある文にサイドラインを引きましょう。</p> <p>○クレーン車は、どんな仕事をしていますか。</p> <p>○クレーン車は、どんな作りになっていますか。書いてある文にサイドラインを引きましょう。</p> <p>○クレーン車は、どんな作りになっていますか。</p> <p>○クレーン車は、丈夫な腕で、どんなものをつりあげますか。</p>	<p>・クレーン車は、重いものを吊り上げる仕事をしています。</p> <p>・じょうぶなうでが、のびたりうごいたりするようにつくってあります。</p> <p>・車たいがかたむかないように、しっかりしたあしがついています。</p> <p>・電柱、重い石、鉄、木材など。</p> <p>・人が持てないぐらい</p>	<p>・一斉読み ・指名読み ・はっきりとした発音で読むことを意識付けさせる。</p> <p>・仕事の内容に鉛筆でサイドラインを引かせる。</p> <p>・仕事の内容を赤のサイドラインで確認する。</p> <p>・作りの内容に鉛筆でサイドラインを引かせる。</p> <p>・作りの内容を青のサイドラインで確認する。</p> <p>・人が持てない重いものを想起させ、イメージ化する。</p>

	<p>【学び合い：ペア】 【学び合い：クラス】</p> <p>(4)ワークシートに視写する。</p>	<p>○腕が丈夫でなかったらどうなるでしょう。 ○腕は、他にどんなことができますか。 ○しっかりしたあしが付いているのは、どうしてでしょう。</p> <p>○クレーン車の仕事とそのためのでの作りをワークシートに視写しましょう。 ○終わった人は、吹き出しにクレーン車の自慢を書きましょう。</p>	<p>重いものを持つ。 ・重いものを持ち上げられない。 ・伸びたり、動いたりすることができる。 ・車体が傾かないようにするため。</p>	<p>・ペア学習によって、自分の考えに自信を持たせる。また、ペアで学び合ったことを全体で学び合わせる。 ・「そのために」という言葉に注目させながら仕事と作りを関連付けて読み取らせる。 ・仕事とそのためのでの作りについて、ワークシートに視写させる。</p>
<p>ま と め る 8 分</p>	<p>4 学習のまとめをする。 (1)まとめの音読をする。 (2)学習の振り返りをする。 【学び合い：ペア】 【学び合い：クラス】</p> <p>5 次時の予告をする。</p>	<p>○クレーン車の仕事とそのためのでの作りを考えながら読みましょう。 ○今日の学習で、分かったことをペアで話し合しましょう。 ○ペアで話し合ったことを発表してください。 ○次の時間は、はしご車の学習をします。</p>		<p>・仕事とそのためのでの作りに気を付けさせながら、音読させる。 ・指名読み ・クレーン車の仕事とそのためのでの作りについて分かったことを発表させる。 ・全体の場で学び合い、次時の意欲へとつなげさせる。</p>

(4) 板書計画

じどう車くらぶ

かだい

しごと

クレーン車は、
おもいものをつりあげる
しごとをしています。

そのために、

つくり

じょうぶなうでが、
のびたりうごいたりするように、
つくってあります。

クレーン車の絵

車たいがかたむかないように、
しっかりしたあしが、
ついています。